第3章 障害者団体の状況

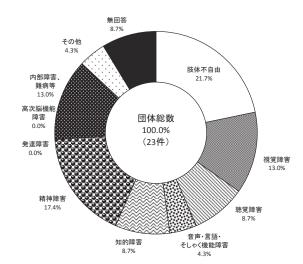
1 障害者団体の概要

ここでは、東京都内の障害者団体のうち、回答の得られた 23 団体について述べる。23 団体はいずれも当事者会員が所属している団体で、家族のみの団体はみられなかった。

(1) 当事者会員の障害名

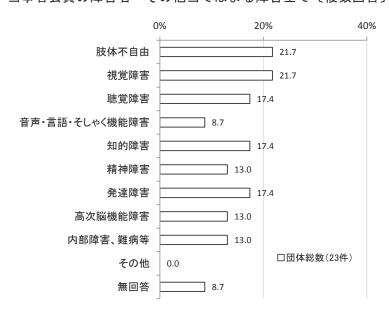
障害者団体の当事者会員の障害で最も多いものは、「肢体不自由」が 21.7% (5 団体)、「精神障害」が 17.4% (4 団体)、「視覚障害」が 13.0% (3 団体) だった。

その他当てはまる障害全てについては、「肢体不自由」が 21.7% (5 団体)、「視覚障害」 が 21.7% (5 団体) だった。



図表 3-1 当事者会員の障害名 最も多い障害 [単数回答] (Q1)

図表 3-2 当事者会員の障害名 その他当てはまる障害全て〔複数回答〕(Q1)





(2) 当事者会員数

当事者会員数の中央値は 600 人だった。年代別の内訳をみると、中央値で 20 代以下が 14 人、30 代が 23.5 人、40 代が 45 人、50 代が 41.5 人、60 代が 20 人、70 代以上が 11 人だった。

図表 3-3 当事者会員数 (Q2)

		最小値	最大値	平均值	標準偏差	中央値
	団体総数(23件)	4.0	10000.0	1203.9	2160.4	600.0
員害兒	肢体不自由	42.0	2678.0	1112.5	1276.7	865.0
数名	視覚障害	130.0	1428.0	652.7	684.9	400.0
が「二当	聴覚障害	600.0	1264.0	932.0	469.5	932.0
多最事と	音声・言語・そしゃく機能障害	926.0	926.0	926.0	_	926.0
障 当 仝	知的障害	100.0	1108.0	604.0	712.8	604.0
晋 事 昌	精神障害	4.0	600.0	231.8	256.7	161.5
者の	内部障害、難病等	780.0	10000.0	4760.0	4737.4	3500.0
会 障	その他	138.0	138.0	138.0	_	138.0

(注) 当事者会員と家族会員の内訳が不明のため、当事者会員と家族会員を合わせた人数で回答した団体が 1 団体あった (肢体不自由)。

図表 3-4 当事者会員 年代別人数 (Q3)

(団体総数 23 件)

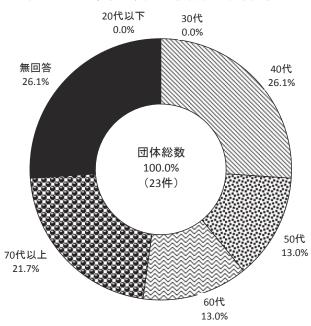
	最小値	最大値	平均值	分散	標準偏差	中央値
20代以下	0.0	799.0	142.8	75149.1	274.1	14.0
30代	0.0	155.0	59.3	4669.1	68.3	23.5
40代	6.0	207.0	79.8	6113.1	78.2	45.0
50代	14.0	193.0	63.5	3455.4	58.8	41.5
60代	1.0	281.0	75.9	11521.9	107.3	20.0
70代以上	0.0	700.0	189.0	83012.8	288.1	11.0



(3) 当事者会員の平均年齢

当事者会員の平均年齢を尋ねたところ、40 代が 26.1% (6 団体) と最も多く、次いで 70 代以上が 21.7% (5 団体) だった。

最も当事者会員が多い障害別にみると、肢体不自由では「40代」が2団体、「70代以上」が2団体だった。



図表 3-5 当事者会員 平均年齢 [単数回答] (Q4)

図表 3-6 平均年齢 [単数回答] (Q4) -最も当事者会員が多い障害別

		総数	20代以下	30代	40 代	50代	60代	70代以上	無回答
	団体総数	23	0	0	6	3	3	5	6
		100.0	0.0	0.0	26.1	13.0	13.0	21.7	26.1
<u> </u>	肢体不自由	5	0	0	2	1	0	2	0
が多い障害 日: 当事者		100.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0
に 当	視覚障害	3	0	0	0	1	1	1	0
に 事 事 ま		100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
口 伯 会	聴覚障害	2	0	0	0	1	1	0	0
員		100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
O n d	音声・言語・そしゃく機	1	0	0	0	0	0	1	0
い障害の障害名_最も当事者会員数	能障害	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
I 名	知的障害	2	0	0	1	0	0	0	1
最		100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
ŧ	精神障害	4	0	0	1	0	0	0	3
当		100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0
者	内部障害、難病等	3	0	0	0	0	1	1	1
숲		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
貝粉	その他	1	0	0	0	0	0	0	1
奴		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

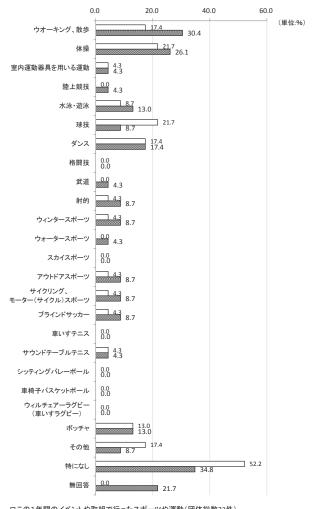


2 スポーツや運動について

(1) この 1 年間に行ったスポーツや運動、今後も続けていきたい、あるいは新たに取り入れたいスポーツや運動

この1年間のイベントや取組で行ったスポーツや運動については「特になし」の回答が多く、52.2%(12 団体)だった。それ以外では、「体操(ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳びなど)」や「球技(キャッチボールなどのボールを使った軽い運動も含む)」の割合が高く、いずれも 21.7%(5 団体)だった。今後も続けていきたい、あるいは新たに取り入れたいスポーツや運動は、「ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩など)」が 30.4%(7 団体)、「体操(ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳びなど)」が 26.1%(6 団体)だった。

図表 3-7 この 1 年間のイベントや取組で行ったスポーツや運動 /今後も続けていきたい、あるいは新たに取り入れたいスポーツや運動〔複数回答〕(Q5)



ロこの1年間のイベントや取組で行ったスポーツや運動(団体総数23件) の今後も続けていきたい、新たに取り入れたいスポーツや運動(団体総数23件)



(2) スポーツや運動を取り入れた理由

(※この1年間にスポーツや運動を行った11団体、及び、この1年間にはスポーツや運動を行ってはいないが、今後も続けていきたい、新たに取り入れたいスポーツや運動がある1団体を含めた計12団体が対象)

この1年間のイベントや取組で行ったスポーツや運動、あるいは今後も続けていきたい、あるいは新たに取り入れたいスポーツや運動について「特になし」以外の回答をした 12 団体に対して、イベントや取組にスポーツや運動を取り入れた理由を尋ねたところ、「健康・体力づくりのため」が最も多く、全ての団体から回答があった(100%、12 団体)。次いで、「レクリエーションの一環として、楽しみづくりのため」が 83.3%(10 団体)だった。

20% 40% 60% 80% 100% 120% 健康・体力づくりのため 100.0 レクリエーションの一環として、 83.3 楽しみづくりのため リハビリテーションや医療・治療のため 16.7 当事者会員相互や職員との 66.7 交流を深めるため 障害者スポーツ大会に参加するため 16.7 目標や記録に挑戦するため 33.3 その他 8.3 □団体総数(12件) 無回答 0.0

図表 3-8 イベントや取組にスポーツや運動を取り入れた理由〔複数回答〕(Q5-1)



図表 3-9 イベントや取組にスポーツや運動を取り入れた理由〔複数回答〕(Q5-1) ー最も当事者会員が多い障害別

		総数	健康・体力づくりのため	して、楽しみづくりのためレクリエーションの一環と	治療のため	の交流を深めるため	加するため	め、目標や記録に挑戦するた	その他	無回答
	団体総数	12	12	10	2	8	2	4	1	0
		100.0	100.0	83.3	16.7	66.7	16.7	33.3	8.3	0.0
がの	肢体不自由	3	3	2	1	2	1	2	0	0
多一		100.0	100.0	66.7	33.3	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0
が多い障害 記事者:	視覚障害	2	2	1	0	1	0	0	0	0
呼 争 害 去		100.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会	聴覚障害	1	1	1	0	1	1	1	0	0
員		100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
の 陪	音声・言語・そしゃく機能	1	1	1	0	0	0	0	0	0
害	障害	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名	知的障害	1	1	1	0	1	0	1	0	0
最		100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
も 当	精神障害	1	1	1	0	0	0	0	0	0
事		100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
い障害(過年名」最も当事者会員数	内部障害、難病等	1	1	1	0	1	0	0	0	0
会		100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
数	その他	1	1	1	0	1	0	0	0	0
		100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 3-10 イベントや取組にスポーツや運動を取り入れた理由〔複数回答〕(Q5-1)

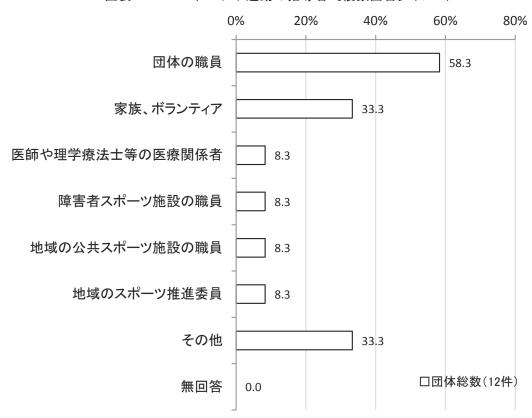
			_	- 当事者	会員の平	平均年齢	別			
		総数	健康・体力づくりのため	して、楽しみづくりのためレクリエーションの一環と	治療のため	の交流を深めるため当事者会員相互や職員と	加するため障害者スポーツ大会に参	め、目標や記録に挑戦するた	その他	無回答
	団体総数	12	12	10	2	8	2	4	1	0
		100.0	100.0	83.3	16.7	66.7	16.7	33.3	8.3	0.0
均 2	40代	4	4	4	2	3	0	2	1	0
4 .		100.0	100.0	100.0	50.0	75.0	0.0	50.0	25.0	0.0
齢 当	50代	1	1	1	0	1	1	1	0	0
争		100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
位 会	60代	2	2	2	0	2	0	0	0	0
齢当事者会員の平		100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
<u>の</u>	70代以上	4	4	2	0	1	1	1	0	0
''		100.0	100.0	50.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0



(3) スポーツや運動の指導者

(※この1年間にスポーツや運動を行った11団体、及び、この1年間にはスポーツや運動を行ってはいないが、今後も続けていきたい、新たに取り入れたいスポーツや運動がある1団体を含めた計12団体が対象)

スポーツや運動の指導を行っているのは、「団体の職員」が58.3%(7団体)だった。



図表 3-11 スポーツや運動の指導者 [複数回答] (Q5-2)



図表 3-12 スポーツや運動の指導者 [複数回答] (Q5-2) -最も当事者会員が多い障害別

		総数	団体の職員	家族、ボランティア	等の医療関係者医師や理学療法士	の職員 の職員	施設の職員地域の公共スポーツ	委員 地域のスポーツ推進	その他	無回答
	団体総数	12	7	4	1	1	1	1	4	0
		100.0	58.3	33.3	8.3	8.3	8.3	8.3	33.3	0.0
が ^Q .	肢体不自由	3	1	1	0	1	1	1	0	0
		100.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
が多い障害 図1:当事者	視覚障害	2	2	1	0	0	0	0	0	0
害者		100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会	聴覚障害	1	0	0	0	0	0	0	1	0
員		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
の 障	音声・言語・そしゃく	1	1	0	0	0	0	0	0	0
害	機能障害	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名	知的障害	1	1	0	0	0	0	0	1	0
最		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
も当	精神障害	1	0	0	0	0	0	0	1	0
事		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
い障害 一切に おいじょう おいじょう はいじょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう いいき おいま おいま はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう しょう しょう しょう はんしょう いっぱん しんしょう はんしょう はんしょく はんしゃ はんしゃ はんしゃく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	内部障害、難病等	1	0	1	0	0	0	0	0	0
会		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
_貝 数	その他	1	1	0	0	0	0	0	1	0
-		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

図表 3-13 スポーツや運動の指導者 [複数回答] (Q5-2) - 当事者会員の平均年齢別

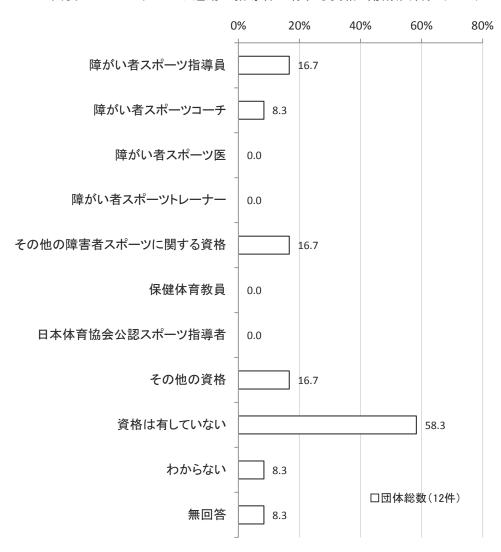
		総数	団体の職員	家族、ボランティア	の医療関係者医師や理学療法士等	職員障害者スポーツ施設の	設の職員地域の公共スポーツ施	員 地域のスポーツ推進委	その他	無回答
	団体総数	12	7	4	1	1	1	1	4	0
		100.0	58.3	33.3	8.3	8.3	8.3	8.3	33.3	0.0
齢 2	40代	4	3	1	1	0	0	0	2	0
		100.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
事	50代	1	0	0	0	0	0	0	1	0
者		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
云員	60代	2	1	2	0	0	0	0	0	0
<u>の</u>		100.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
当事者会員の平均年	70代以上	4	2	1	0	1	1	1	0	0
年		100.0	50.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0



(4) スポーツや運動の指導者が有する資格

(※この1年間にスポーツや運動を行った11団体、及び、この1年間にはスポーツや運動を行ってはいないが、今後も続けていきたい、新たに取り入れたいスポーツや運動がある1団体を含めた計12団体が対象)

指導者が有する資格について尋ねたが、「資格は有していない」が 58.3% (7団体) だった。



図表 3-14 スポーツや運動の指導者が有する資格 [複数回答] (Q5-3)



図表 3-15 スポーツや運動の指導者が有する資格 [複数回答] (Q5-3) -最も当事者会員が多い障害別

				耳又	0 = 7	百五只	13 20	14 D 7					
		総数	障がい者スポーツ指導員	障がい者スポーツコーチ	障がい者スポーツ医	サー 障がい者スポーツトレー	に関する資格その他の障害者スポーツ	保健体育教員	―ツ指導者日本体育協会公認スポ	その他の資格	資格は有していない	わからない	無回答
	団体総数	12	2	1	0	0	2	0	0	2	7	1	1
		100.0	16.7	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	58.3	8.3	8.3
害 인	肢体不自由	3	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1
-		100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
事	視覚障害	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
者		100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
云員	聴覚障害	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
当事者会員の障害名		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
害	音声・言語・そしゃく	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
名	機能障害	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

図表 3-16 スポーツや運動の指導者が有する資格 [複数回答] (Q5-3)

_ 最も当事者会員数が多い障

知的障害

精神障害

その他

内部障害、難病等

1

100.0

100.0

100.0

100.0

1

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

一当事者会員の平均年齢別

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

100.0

0

0

0.0

0

0.0

0.0

0.0

1

100.0

100.0

100.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

0

0.0

		総数	導員 障がい者スポーツ指	チ 障がい者スポーツコー	障がい者スポーツ医	ーナー 障がい者スポーツトレ	―ツに関する資格その他の障害者スポ	保健体育教員	ポーツ指導者日本体育協会公認ス	その他の資格	資格は有していない	わからない	無回答
	団体総数	12	2	1	0	0	2	0	0	2	7	1	1
		100.0	16.7	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	58.3	8.3	8.3
齢 Q	40代	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0
Τ.		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
事	50代	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
者		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
云員	60代	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
<u>0</u>		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
当事者会員の平均年	70代以上	4	2	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1
年		100.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0



(5) スポーツや運動を含むイベント・取組を行った場所

(※この1年間にスポーツや運動を行った11団体、及び、この1年間にはスポーツや運動を行ってはいないが、今後も続けていきたい、新たに取り入れたいスポーツや運動がある1団体を含めた計12団体が対象)

スポーツや運動を含むイベント・取組を行った場所については、「公共のスポーツ施設 (障害者専用施設)」が 58.3% (7団体) だった。

0% 20% 40% 60% 80% 団体の敷地内 16.7 道路や遊歩道 8.3 広場や公園 16.7 民間のスポーツ施設 8.3 公共のスポーツ施設 58.3 (障害者専用施設) 公共のスポーツ施設 25.0 (障害者専用施設以外) 公立小中学校の体育施設 0.0 特別支援学校の体育施設 16.7 福祉施設 33.3 医療機関 0.0 □団体総数(12件) 山·川·海 0.0 その他 25.0 無回答 0.0

図表 3-17 スポーツや運動を含むイベント・取組を行った場所〔複数回答〕(Q5-4)



図表 3-18 スポーツや運動を含むイベント・取組を行った場所〔複数回答〕(Q5-4) -最も当事者会員が多い障害別

		総数	団体の敷地内	道路や遊歩道	広場や公園	施設民間のスポーツ	用施設) 出施設(障害者専	用施設以外) 施設(障害者専	体育施設
	団体総数	12	2	1	2	1	7	3	0
		100.0	16.7	8.3	16.7	8.3	58.3	25.0	0.0
が2	肢体不自由	100.0	0 0.0	0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	1 33.3	0 0.0
多い当	 視覚障害	2	1	0.0	1	0.0	100.0	0	0.0
障事	1. 光泽日	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0
舌 者		1	0	0	0	0	0	1	0
云員		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
O D	音声・言語・そしゃく機能	1	0	0	0	0	0	0	0
四 害	障害	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名	知的障害	1	0	0	0	1	0	0	0
最		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
が多い障害 Q1. 当事者会員の障害名_最も当事者会員数	精神障害	1	0	0	0	0	0	1	0
事	 内部障害、難病等	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0 0	0.0
者	内印牌古、雉州寺	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
五 員	その他	100.0	1	1	1	0.0	100.0	0.0	0.0
数	(0)	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
		総数	設 校の体育施 特別支援学	福祉施設	医療機関	山 川 海	その他	無回答	
	団体総数	12	2	4	0	0	3	0	
		100.0	16.7	33.3	0.0	0.0	25.0	0.0	
がり	肢体不自由	3	1	2	0	0	2	0	
多一.	42000000000000000000000000000000000000	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	66.7	0.0	
障事	視覚障害	100.0	0 0.0	0.0	0 0.0	0 0.0	0.0	0.0	
害者	 - 聴覚障害	100.0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
会	70.20 PT	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
<u></u>	音声・言語・そしゃく機能	1	0	0	0	0	1	0	
障 宝	障害	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
名	知的障害	1	0	0	0	0	0	0	
最		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ŧ ×	精神障害	1	0	0	0	0	0	0	
事		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
者	内部障害、難病等 	1	0	0	0	0	0	0	
会	7.0/14	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
が多い障害 Q1. 当事者会員の障害名_最も当事者会員数	その他	100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0.0	0.0	0.0	



図表 3-19 スポーツや運動を含むイベント・取組を行った場所〔複数回答〕(Q5-4) - 当事者会員の平均年齢別

		総数	団体の敷地内	道路や遊歩道	広場や公園	民間のスポーツ施設	(障害者専用施設)公共のスポーツ施設	外) (障害者専用施設以外)	育施設公立小中学校の体
	団体総数	12 100.0	2 16.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	7 58.3	3 25.0	0
	40/15								
均年齡	40代	4 100.0	0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	50.0	0 0.0
齢 当	50代	1	0	0	0	0	0	1	0
事		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
白	60代	2	1	0	1	0	2	0	0
半齢当事者会員の平		100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0
<u>の</u>	70代以上	4	0	0	0	0	3	0	0
+		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0
		総数	の体育施設	福祉施設	医療機関	山川・海	その他	無回答	
	団体総数	12	2	4	0	0	3	0	
		100.0	16.7	33.3	0.0	0.0	25.0	0.0	
±₁ Ω	40代	4	1	2	0	0	1	0	
均年齡		100.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
齢当	50代	1	1	0	0	0	0	0	
均年齢 Q4 ⁻ 当事者会員の平		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
숲	60代	2	0	0	0	0	0	0	
員		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
か	70代以上	4	0	1	0	0	2	0	
7		100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	

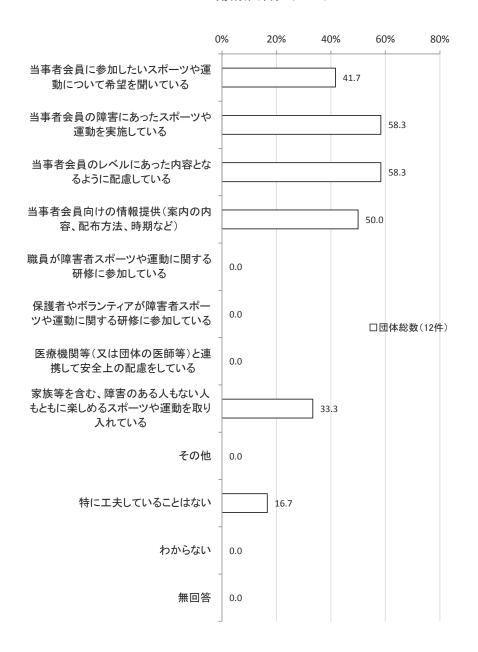


(6) 当事者会員がスポーツや運動を含むイベント・取組に参加しやすくするための工夫

(※この1年間にスポーツや運動を行った11団体、及び、この1年間にはスポーツや運動を行ってはいないが、今後も続けていきたい、新たに取り入れたいスポーツや運動がある1団体を含めた計12団体が対象)

当事者会員がスポーツや運動を含むイベント・取組に参加しやすくするための工夫は、「当事者会員の障害にあったスポーツや運動を実施している」、「当事者会員のレベルにあった内容となるように配慮している」がともに 58.3% (7 団体) だった。次いで「当事者会員向けの情報提供(案内の内容、配布方法、時期など)」が 50.0% (6 団体) だった。

図表 3-20 当事者会員がスポーツや運動を含むイベント・取組に参加しやすくするための工夫 [複数回答] (Q5-5)





図表 3-21 当事者会員がスポーツや運動を含むイベント・取組に参加しやすくするための工夫 [複数回答] (Q5-5) -最も当事者会員が多い障害別

	Cla	数回答	(Q5-5)	AX O	当事者多			
		総数	ている 一ツや運動について希望を聞い 当事者会員に参加したいスポ	ポーツや運動を実施している当事者会員の障害にあったス	容となるように配慮している当事者会員のレベルにあった内	など) (案内の内容、配布方法、時期 当事者会員向けの情報提供	に関する研修に参加している職員が障害者スポーツや運動	修に参加している 者スポーツや運動に関する研保護者やボランティアが障害
	団体総数	12 100.0	5 41.7	7 58.3	7 58.3	6 50.0	0 0.0	0 0.0
がの	肢体不自由	3	0	1	1	2	0	0
が多い障害	 視覚障害	100.0 2	0.0	33.3 1	33.3	66.7 1	0.0	0.0
障事 害者		100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0
い障害(最も当事者会員数	聴覚障害	100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0.0	0 0.0
の暗	音声・言語・そしゃく機能障	1	0	1	0	0	0	0
害	害 知的障害	100.0 1	0.0	100.0 0	0.0	0.0	0.0	0.0
五	· 재미(부급	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
も 当	精神障害	1000	1 100.0	100.0	0	0	0	0 0.0
事者	 内部障害、難病等	100.0 1	100.0	100.0 1	0.0	0.0 1	0.0	0.0
会		100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
数	その他	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0.0	0 0.0
	•		1					
		総数	いると連携して安全上の配慮をしてと連携して安全上の配慮をして医療機関等(又は団体の医師等)	ツや運動を取り入れているない人もともに楽しめるスポー家族等を含む、障害のある人も	その他	特に工夫していることはない	わからない	無回答
	団体総数	12	0	1 ±	0	2	0	0
	団体総数	12 100.0		Ιŧ				
が多い の1・当	肢体不自由	12 100.0 3 100.0	0 0.0 0 0.0	1 ± 4 33.3 2 66.7	0 0.0 0	2 16.7 1 33.3	0 0.0 0	0 0.0 0
のi・当事者	<u>, </u>	12 100.0	0 0.0 0	4 33.3 2	0 0.0 0	2 16.7	0 0.0	0 0.0 0
M多い障害 Mの1:当事者会員	肢体不自由	12 100.0 3 100.0 2 100.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0	4 33.3 2 66.7 1 50.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0	2 16.7 1 33.3 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0
が多い障害の暗った。	肢体不自由 視覚障害 聴覚障害 音声・言語・そしゃく機能障	12 100.0 3 100.0 2 100.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0	4 33.3 2 66.7 1 50.0	0 0.0 0 0.0 0	2 16.7 1 33.3 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0
Q1. 当事者会員の障害を	肢体不自由 視覚障害 聴覚障害 音声・言語・そしゃく機能障害	12 100.0 3 100.0 2 100.0 1 100.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	± 4 33.3 2 66.7 1 50.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	2 16.7 1 33.3 0 0.0 0.0 0 0.0 1 100.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0
が多い障害	肢体不自由 視覚障害 聴覚障害 音声・言語・そしゃく機能障	12 100.0 3 100.0 2 100.0 1 100.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	± 4 33.3 2 66.7 1 50.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0	2 16.7 1 33.3 0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0
Q1. 当事者会員の障害名_最も当	肢体不自由 視覚障害 聴覚障害 音声・言語・そしゃく機能障害	12 100.0 3 100.0 2 100.0 1 100.0 1 100.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	± 4 33.3 2 66.7 1 50.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	2 16.7 1 33.3 0 0.0 0.0 1 100.0 0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0
の1. 当事者会員の障害名_最も当事者	肢体不自由 視覚障害 聴覚障害 音声・言語・そしゃく機能障害 知的障害	12 100.0 3 100.0 2 100.0 1 100.0 1 100.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	± 4 33.3 2 66.7 1 50.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0	2 16.7 1 33.3 0 0.0 0.0 1 100.0 0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0
Q1. 当事者会員の障害名_最も当事者会員数	肢体不自由 視覚障害 聴覚障害 音声・言語・そしゃく機能障害 知的障害	12 100.0 3 100.0 2 100.0 1 100.0 1 100.0 1 100.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	± 4 33.3 2 66.7 1 50.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	2 16.7 1 33.3 0 0.0 0.0 1 100.0 0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0



図表 3-22 当事者会員がスポーツや運動を含むイベント・取組に参加しやすくするための工夫 [複数回答] (Q5-5) -当事者会員の平均年齢別

		総数	の りや運動について希望を聞いてい 当事者会員に参加したいスポー	――ツや運動を実施している 当事者会員の障害にあったスポ	となるように配慮している当事者会員のレベルにあった内容	内の内容、配布方法、時期など)当事者会員向けの情報提供(案	関する研修に参加している職員が障害者スポーツや運動に	参加している 参加している 参加している を渡者やボランティアが障害者
	団体総数	12 100.0	5 41.7	7 58.3	7 58.3	6 50.0	0 0.0	0 0.0
# 0	40代	4	1	1	3	1	0	0
均年齢 均年齢		100.0	25.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0
齢 当 東	50代	1	1	1	1	1	0	0
者		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
숦	60代	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	0.0	0 0.0
貝 の	70代以上	100.0	0	100.0	30.0	100.0	0.0	0.0
平	7010以上	100.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
		総数	連携して安全上の配慮をしている医療機関等(又は団体の医師等)と	を取り入れている 人もともに楽しめるスポーツや運動 家族等を含む、障害のある人もない	その他	特に工夫していることはない	わからない	無回答
	団体総数	12	ک 0	4	0	2	0	0
		12 100.0	ک 0 0.0	4 33.3	0 0.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0
—————————————————————————————————————	団体総数	12 100.0 4	ے 0 0.0 0	4 33.3	0 0.0 0	2 16.7 0	0 0.0	0 0.0 0
均年齢	40ft	12 100.0 4 100.0	0 0.0 0 0.0	4 33.3 1 25.0	0 0.0 0 0.0	2 16.7 0 0.0	0 0.0 0	0 0.0 0 0.0
均年齢		12 100.0 4 100.0	0 0.0 0 0.0 0.0	4 33.3 1 25.0	0 0.0 0 0.0	2 16.7 0 0.0	0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0
Q4. 当事者空	50代	12 100.0 4 100.0 1 100.0	0 0.0 0 0.0 0.0	4 33.3 1 25.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0	2 16.7 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0
Q4. 当事者会員	40ft	12 100.0 4 100.0	0 0.0 0 0.0 0.0	4 33.3 1 25.0	0 0.0 0 0.0	2 16.7 0 0.0 0	0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0
Q4. 当事者会員の平	50代	12 100.0 4 100.0 1 100.0 2	0 0.0 0 0.0 0.0 0	4 33.3 1 25.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0	2 16.7 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0

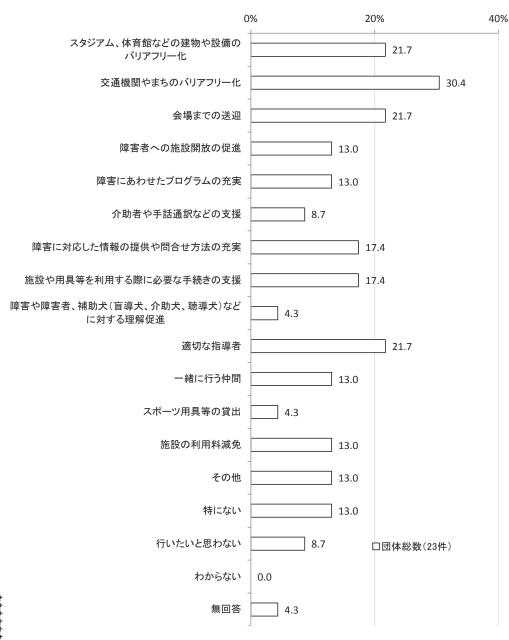


(7) イベントや取組でスポーツや運動を行う際に必要な支援

全ての障害者団体に対して、イベントや取組でスポーツや運動を行う際に必要な支援について尋ねたところ、「交通機関やまちのバリアフリー化」が30.4%(7団体)、次いで「適切な指導者」が21.7%(5団体)だった。

障害者団体ヒアリングでは、地域でのスポーツの機会がほしいという意見があった(視覚、知的)。また、スポーツを行う際に必要な用具や備品(例:吹き矢の道具、サウンドテーブルテニスに用いるテーブル、徒競走でスタートを合図するための旗)の費用がかかることや、設置されている会場が少ないこと、そのために用具や備品を都度会場まで持参することの負担感についての意見があった(肢体不自由、視覚、聴覚)。障害者用のプール(重症心身障害児者)や家族で使える更衣室があるとよい、更衣の手伝いについてスタッフの声掛けがほしい(知的)という意見もあった。

図表 3-23 イベントや取組でスポーツや運動を行う際に必要な支援 [3つまで] (Q6)





138

図表 3-24 イベントや取組でスポーツや運動を行う際に必要な支援〔3つまで〕(Q6) ー最も当事者会員が多い障害別

			_	取も言	争有会	貝か多	・10,1店早	门门	-	-		-
		総数	のバリアフリー化スタジアム、体育館などの建物や設備	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	方法の充実障害に対応した情報の提供や問合せ	手続きの支援施設や用具等を利用する際に必要な	犬、聴導犬)などに対する理解促進障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助	適切な指導者
	団体総数	23 100.0	5 21.7	7 30.4	5 21.7	3 13.0	3 13.0	2 8.7	4 17.4	4 17.4	1 4.3	5 21.7
がの	肢体不自由	5	3	4	0	1	1	1	0	2	1	0
多一.	10 24 04 64	100.0	60.0	80.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0
障事	視覚障害	3 100.0	1 33.3	2 66.7	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3
が多い障害 Q1. 当事者会員の障害名_最も当事者会員数	聴覚障害	2	0	00.7	0	0.0	1	0.0	2	0	0.0	0
云員		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
の暗	音声・言語・そしゃく機	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
害	能障害	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名	知的障害	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1
最	 精神障害	100.0 4	0.0	0.0	0.0 1	100.0 0	0.0	0.0	0.0	50.0 0	0.0	50.0 1
当	稍忡阵音 	100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
事	内部障害、難病等	3	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0
会		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
員	その他	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
		総数	一緒に行う仲間	出るポーツ用具等の貸	施設の利用料減免	その他	特にない	行いたいと思わない	わからない	無回答		
	団体総数	23 100.0	3 13.0	1 4.3	3 13.0	3 13.0	3 13.0	2 8.7	0 0.0	1		
	肢体不自由	100.0	13.0	4.3	13.0	13.0	13.0	8.7	0.0	4.3		
が多い障害 Q1. 当事者会員の障害名_最も当事者会員数		100.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
い当	視覚障害	3	1	0	0	0	0	0	0	0		
哔 事 害 者		100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
숲	聴覚障害	2	0	0	0	2	0	0	0	0		
貞 の	音声・言語・そしゃく機	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0 0	0.0 1	0.0	0.0	0.0		
障	背角・音語・そしやへ機	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
害名	知的障害	2	0.0	1	1	0.0	0	0.0	0.0	0.0		
- 最	·	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
ŧ	精神障害	4	1	0	1	1	0	0	0	1		
当事	1 4-14-4-20	100.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0		
者	内部障害、難病等	3	1	0	0	0	2	1	0	0		
会員	7.0/h	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0		
数	その他	100.0	0.0	0 0.0	0.0	0 0.0	0.0	0 0.0	0.0	0 0.0		
	I	100.0	1 0.0	0.0	l 0.0	1 0.0	J 0.0	1 0.0	1 0.0	1 0.0	1:	15028



図表 3-25 イベントや取組でスポーツや運動を行う際に必要な支援〔3つまで〕(Q6) - 当事者会員の平均年齢別

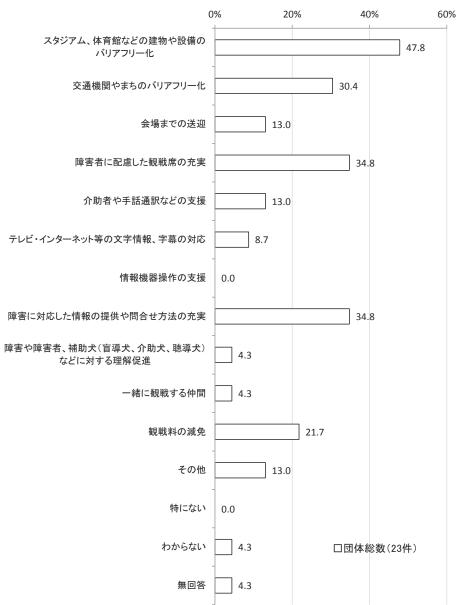
総数 バリアフリー化スタジアム、体育館などの建物や設備の 障害者への施設開放の促進 障害にあわせたプログラムの充実 法の充実に対応した情報の提供や問 続きの支援施設や用具等を利用する際に必要な手 犬障 交通機関やまちのバリアフリー化 会場までの送迎 介助者や手話通訳などの支援 適切な指導者 :害や障害者、補助犬(盲導犬、 、聴導犬)などに対する理解促進 合せ方 介助 団体総数 5 4 4 23 5 3 3 2 1 5 21.7 13.0 13.0 17.4 17.4 21.7 100.0 30.4 21.7 8.7 4.3 40代 0 0 3 6 2 2 1 2 0 1 均年齢 以年齢 100.0 33.3 33.3 16.7 33.3 16.7 0.0 0.0 16.7 0.0 50.0 50代 3 0 2 0 0 1 0 1 1 100.0 0.0 66.7 0.0 0.0 33.3 33.3 33.3 33.3 0.0 33.3 60代 0 0 0 3 0 0 0 100.0 0.0 0.0 33.3 0.0 33.3 0.0 33.3 33.3 0.0 0.0 70代以上 3 0 0 0 0 1 1 100.0 60.0 0.0 20.0 0.0 60.0 20.0 0.0 20.0 20.0 0.0 出 スポーツ用具等の貸 その他 特にない 無 一緒に行う仲間 施設の利用料減免 わからない 行いたいと思わない **灬回答** 団体総数 23 3 1 3 3 2 0 1 3 100.0 13.0 4.3 13.0 13.0 13.0 8.7 0.0 4.3 40代 6 0 2 0 0 0 0 均年齢 以4. 当事者会員の平 100.0 16.7 0.0 33.3 0.0 0.0 16.7 0.0 0.0 50代 0 0 0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0 33.3 0.0 0.0 0.0 60代 2 0 0 0 0 0 0 3 1 100.0 66.7 0.0 0.0 33.3 0.0 0.0 0.0 0.0 70代以上 5 0 0 0 0 2 0 0 100.0 0.0 40.0 0.0 0.0 0.0 0.0 20.0 0.0



(8) 当事者会員がスポーツ観戦をする上で必要な支援

当事者会員がスポーツ観戦をする上で必要な支援については、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」が 47.8% (11 団体)、「障害者に配慮した観戦席の充実」が 34.8% (8 団体)、「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」が 34.8% (8 団体) だった。

また、障害者団体ヒアリングでは、スタジアムや体育館などの建物で、障害者等と介助者が隣で一緒に観戦できるようにしてほしい(肢体不自由)、スタッフが障害者等とのコミュニケーションに慣れてくれると有難い(聴覚)との意見がみられた。



図表 3-26 当事者会員がスポーツ観戦をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q7)



図表 3-27 当事者会員がスポーツ観戦をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q7)

			一最も当	事者会	員の多い	、 で に に に に に に に に に に に に に	-		. (4.)	
		総数	化 建物や設備のバリアフリー は物や設備のバリアフリー	リー化 交通 機関やまちのバリアフ	会場までの送迎	の充実に配慮した観戦席	支援の助者や手話通訳などの	文字情報、字幕の対応テレビ・インターネット等の	情報機器操作の支援	供や問合せ方法の充実障害に対応した情報の提
	団体総数	23 100.0	11 47.8	7 30.4	3 13.0	8 34.8	3 13.0	2 8.7	0 0.0	8 34.8
が2	肢体不自由	5 100.0	5 100.0	3 60.0	0	3 60.0	0.0	0	0	2 40.0
が多い障害 21. 当事者	視覚障害	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0.0	1 33.3
い障害(最も当事者会員数)のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	聴覚障害	2	0 0.0	1 50.0	0.0	0	1 50.0	1 50.0	0.0	2
貝 の 隨	音声・言語・そしゃく機能障	1	0	0	0	0	0	0	0	0
害 名	知的障害	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0 1	0.0	0.0	0.0	0.0
- 最 も	精神障害	100.0 4	100.0 0	50.0 0	0.0 1	50.0 1	0.0	0.0	0.0	50.0 1
当事	内部障害、難病等	100.0	0.0 1	0.0	25.0 0	25.0 1	0.0	0.0	0.0	25.0 1
者 会 品		100.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
型 数 ———————————————————————————————————	その他	1 100.0	0.0	0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
		総数	どに対する理解促進 導犬、介助犬、聴導犬)な障害や障害者、補助犬(盲	一緒に観戦する仲間	観戦料の減免	その他	特にない	わからない	無回答	
	団体総数	23 100.0	1 4.3	1 4.3	5 21.7	3 13.0	0 0.0	1 4.3	1 4.3	
が2	肢体不自由	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
当障事	視覚障害	3 100.0	0.0	0.0	1 33.3	0.0	0	0.0	0	
害 者		2	0	0	0	1	0	0	0	
貝 の 障	音声・言語・そしゃく機能障	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0 0	0.0	0.0	0.0	
害名	害 知的障害	100.0	0.0	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0.0	0.0	0.0	
- 最 も	 精神障害	100.0 4	0.0	0.0 0	50.0 1	0.0 1	0.0	0.0 0	0.0 1	
当事		100.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	
が多い障害 Q1. 当事者会員の障害名_最も当事者会員数	内部障害、難病等	3 100.0	0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
貞 数	その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	



図表 3-28 当事者会員がスポーツ観戦をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q7) - 当事者会員の平均年齢別

			_	一当事者	会員の当	卢均年齡	別			
		総数	物や設備のバリアフリー化スタジアム、体育館などの建	一化 交通機関やまちのバリアフリ	会場までの送迎	充実	援か助者や手話通訳などの支	文字情報、字幕の対応テレビ・インターネット等の	情報機器操作の支援	や問合せ方法の充実障害に対応した情報の提供
	団体総数	23	11	7	3	8	3	2	0	8
	40代	100.0 6 100.0	47.8 4 66.7	30.4 3 50.0	13.0 1 16.7	34.8 2 33.3	13.0 0 0.0	8.7 0 0.0	0.0 0 0.0	34.8 1 16.7
齢 当 事	50代	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	0 0.0	2 66.7
均年齢 Q4. 当事者会員の平	60代	3 100.0	0.0	1 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2 66.7
の 平	70代以上	5 100.0	4 80.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0	0	1 20.0
		総数	犬、聴導犬)などに対する理解促進障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助	一緒に観戦する仲間	観戦料の減免	その他	特にない	わからない	無回答	
	団体総数	23 100.0	1 4.3	1 4.3	5 21.7	3 13.0	0 0.0	1 4.3	1 4.3	
	40代	6	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0.0	1 16.7	0 0.0	
龄 当 事	50代	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
均年齢 Q4 ⁻ 当事者会員の平	60代	3	0.0	1 33.3	2 66.7	1 33.3	0.0	0.0	0	
の 平	70代以上	5 100.0	0.0	0.0	1 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	



3 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会について

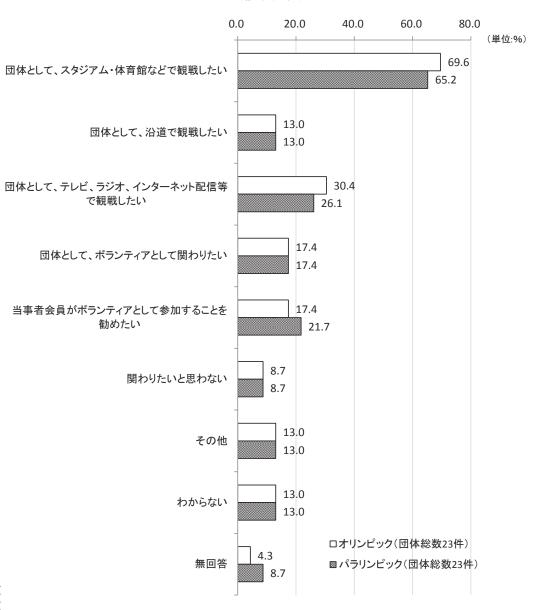
(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会への関わり方

東京 2020 オリンピックについては、「団体として、スタジアム・体育館などで観戦したい」団体が 69.6% (16 団体) だった。

最も当事者会員が多い障害別にみると、肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、知的障害では全ての団体が「団体として、スタジアム・体育館などで観戦したい」と回答した。

東京 2020 パラリンピックについても「団体として、スタジアム・体育館などで観戦したい」の回答が多く、65.2% (15 団体) だった。

図表 3-29 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会への関わり方 〔複数回答〕(Q8)





図表 3-30 東京 2020 オリンピックへの関わり方〔複数回答〕(Q8) 一最も当事者会員が多い障害別

		総数	などで観戦したい団体として、スタジアム・体育館	団体として、沿道で観戦したい	ターネット配信等で観戦したい団体として、テレビ、ラジオ、イン	関わりたい団体として、ボランティアとして	参加することを勧めたい当事者会員がボランティアとして	関わりたいと思わない	その他	わからない	無回答
	団体総数	23	16	3	7	4	4	2	3	3	1
		100.0	69.6	13.0	30.4	17.4	17.4	8.7	13.0	13.0	4.3
がの	肢体不自由	5	5	1	3	2	1	0	0	0	0
が多い障害 21. 当事者		100.0	100.0	20.0	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
い当	視覚障害	3	3	0	1	0	1	0	0	0	0
呼 争 害 多		100.0	100.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
会	聴覚障害	2	2	0	0	1	1	0	1	0	0
員		100.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
の暗	音声・言語・そしゃく機能	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
害	障害	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
名	知的障害	2	2	1	0	1	1	0	0	0	0
最		100.0	100.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ŧ	精神障害	4	1	0	1	0	0	1	2	0	1
主		100.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0
い障害 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	内部障害、難病等	3	1	0	1	0	0	0	0	2	0
숲		100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
貝粉	その他	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
刻		100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 3-31 東京 2020 オリンピックへの関わり方〔複数回答〕(Q8)

	一当事者会員の平均年齢別												
		総数	体育館などで観戦したい団体として、スタジアム・	したい団体として、沿道で観戦	等で観戦したいオ、インターネット配信団体として、テレビ、ラジ	として関わりたい団体として、ボランティア	勧めたい	関わりたいと思わない	その他	わからない	無回答		
	団体総数	23	16	3	7	4	4	2	3	3	1		
		100.0	69.6	13.0	30.4	17.4	17.4	8.7	13.0	13.0	4.3		
t α Ω	40代	6	5	0	2	1	1	1	1	0	0		
均年齡		100.0	83.3	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0		
齢当	50代	3	3	1	1	1	0	0	1	0	0		
争		100.0	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0		
会	60代	3	2	0	0	0	2	0	0	1	0		
員		100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0		
齢当事者会員の平	70代以上	5	4	0	3	1	0	0	0	1	0		
7		100.0	80.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0		



図表 3-32 東京 2020 パラリンピックへの関わり方 [複数回答] (Q8)

ー最も当事者会員が多い障害別

		総数	などで観戦したい団体として、スタジアム・体育館	団体として、沿道で観戦したい	ターネット配信等で観戦したい団体として、テレビ、ラジオ、イン	関わりたい団体として、ボランティアとして	参加することを勧めたい当事者会員がボランティアとして	関わりたいと思わない	その他	わからない	無回答
	団体総数	23	15	3	6	4	5	2 8.7	3	3	2
	H-4-7-4-4	100.0	65.2	13.0	26.1	17.4	21.7		13.0	13.0	8.7
が多い障害 Q1. 当事者	肢体不自由	5 100.0	5 100.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
多 .		3	2	0	00.0	0	2 2	0.0	0.0	0.0	1
い障害(別では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	优克牌音 	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
音 者	聴覚障害	2	2	0	0	1	1	0	1	0	0
云員	100001111	100.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
ر م	音声・言語・そしゃく機能	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
宝	障害	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
名	知的障害	2	2	1	0	1	1	0	0	0	0
最		100.0	100.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ŧ	精神障害	4	1	0	1	0	0	1	2	0	1
当		100.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0
争 老	内部障害、難病等	3	1	0	1	0	0	0	0	2	0
会		100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
員	その他	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
奴		100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 3-33 東京 2020 パラリンピックへの関わり方〔複数回答〕(Q8)

一当事者会員の平均年齢別

				7		, ı ~o —	ה.ניל יו גש				
		総数	どで観戦したい団体として、スタジアム・体育館な	団体として、沿道で観戦したい	ターネット配信等で観戦したい団体として、テレビ、ラジオ、イン	わりたい団体として、ボランティアとして関	参加することを勧めたい当事者会員がボランティアとして	関わりたいと思わない	その他	わからない	無回答
	団体総数	23	15	3	6	4	5	2	3	3	2
		100.0	65.2	13.0	26.1	17.4	21.7	8.7	13.0	13.0	8.7
均年	40代	6	5	0	2	1	1	1	1	0	0
		100.0	83.3	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
齢当	50代	3	3	1	1	1	1	0	1	0	0
尹		100.0	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
숲	60代	3	2	0	0	0	2	0	0	1	0
員		100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
齢	70代以上	5	3	0	2	1	0	0	0	1	1
ı-		100.0	60.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0



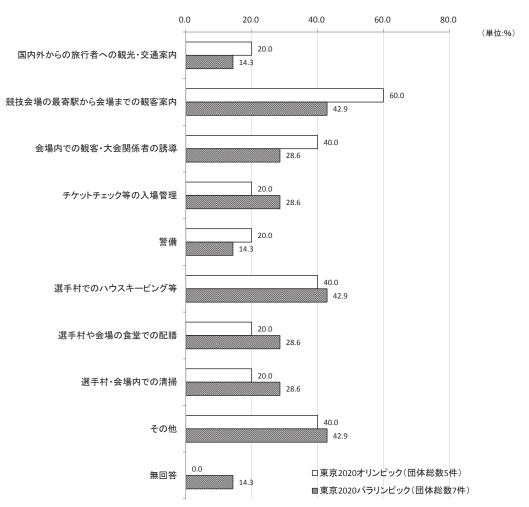
(2) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で関わりたいボランティア活動

(※「団体として、ボランティアとして関わりたい」、「当事者会員がボランティアとして参加することを勧めたい」と回答した団体(東京 2020 オリンピック 5 団体、東京 2020 パラリンピック 7 団体)が対象)

「団体として、ボランティアとして関わりたい」、「当事者会員がボランティアとして参加することを勧めたい」と回答した団体(東京 2020 オリンピック 21.7%、5 団体、東京 2020 パラリンピック 30.4%、7 団体)に、どのようなボランティアとして関わりたいかを尋ねた。

東京 2020 オリンピックについては、「競技会場の最寄駅から会場までの観客案内」が 60.0%、3 団体だった。東京 2020 パラリンピックについては、「競技会場の最寄駅から会場までの観客案内」、「選手村でのハウスキーピング等」が 42.9%、3 団体ずつだった。

図表 3-34 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で関わりたい ボランティア活動〔複数回答〕(Q8-1)





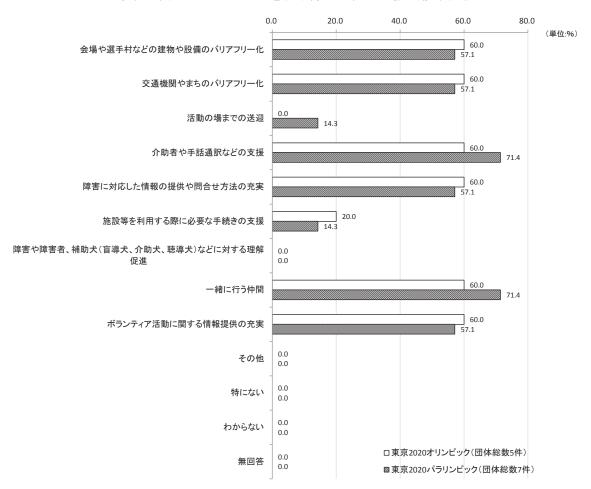
(3) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で当事者会員がボランティアを行う際に必要な支援

(※「団体として、ボランティアとして関わりたい」、「当事者会員がボランティアとして参加することを勧めたい」と回答した団体(東京 2020 オリンピック 5 団体、東京 2020 パラリンピック 7 団体)が対象)

東京 2020 オリンピックで当事者会員がボランティアを行う際に必要な支援は、「会場や選手村などの建物や設備のバリアフリー化」、「交通機関やまちのバリアフリー化」、「介助者や手話通訳などの支援」、「障害に対応した情報の提供や問い合わせ方法の充実」、「一緒に行う仲間」、「ボランティア活動に関する情報提供の充実」が 60.0%、3 団体ずつと、幅広い回答が挙げられた。

東京 2020 パラリンピックについては、「介助者や手話通訳などの支援」、「一緒に行う仲間」が 71.4%、5 団体ずつだった。

図表 3-35 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で 当事者会員がボランティアを行う際に必要な支援〔複数回答〕(Q8-2)



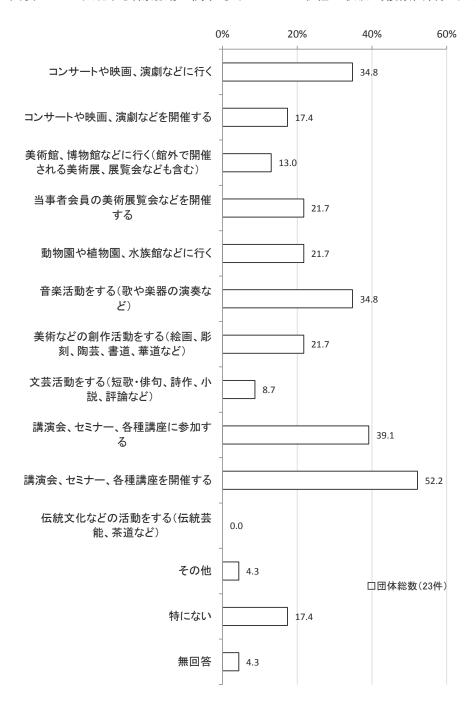


4 文化、芸術活動について

(1) 文化、芸術活動に関するイベント・取組の状況

文化、芸術活動に関するイベント・取組については、「講演会、セミナー、各種講座を 開催する」団体が多く、52.2% (12 団体) だった。

図表 3-36 文化、芸術活動に関するイベント・取組の状況〔複数回答〕(Q9)





図表 3-37 文化、芸術活動に関するイベント・取組の状況〔複数回答〕(Q9) -最も当事者会員が多い障害別

		HX (5 - 7 -1	A 50 5	クいは子	,,,		1	
		総数	どに行く	どを開催するコンサートや映画、演劇な	展、展覧会なども含む)展、展覧会なども含む)	などを開催する当事者会員の美術展覧会	などに行く動物園や植物園、水族館	の演奏など) でいる(歌や楽器	道、華道など) る(絵画、彫刻、陶芸、書美術などの創作活動をす
	団体総数	23 100.0	8 34.8	4 17.4	3 13.0	5 21.7	5 21.7	8 34.8	5 21.7
が Q 1.	肢体不自由	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0
が障事	視覚障害	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0
音者会	聴覚障害	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
の障	音声・言語・そしゃく機能障 害	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
舌名_=	知的障害	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0.0	100.0	1 50.0	2	0.0
が多い障害 Q1. 当事者会員の障害名_最も当事者会員数	精神障害	4 100.0	1 25.0	0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0
事 者 会	内部障害、難病等	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0.0
[員 数	その他	1 100.0	0	1 100.0	1 100.0	0	1	1 100.0	1 100.0
		100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0
		総 数	句、詩作、小説、評論など) 文芸活動をする(短歌・俳	一座に参加する	座を開催するという。	る(伝統芸能、茶道など) る(伝統文化などの活動をす	その他		無回答
	団体総数	総 数 23	句、詩作、小説、評論など) 文芸活動をする(短歌・俳 2	座に参加する 講演会、セミナー、各種講 9	座を開催する 路種講 12	る(伝統芸能、茶道など) 伝統文化などの活動をす 0	その他	特にない	無回答
	団体総数 肢体不自由	総 数 23 100.0 5	句、詩作、小説、評論など) 文芸活動をする(短歌・俳 2.70	座に参加する 講演会、セミナー、各種講 9 39.1 2	座を開催する 講演会、セミナー、各種講 12 52.2 2	る(伝統芸能、茶道など) (伝統文化などの活動をす 0.0 0	その他 1 4.3 0	特にない 17.4 1	無回答 1 4.3 0
が多い障害		総 数 23 100.0	句、詩作、小説、評論など) 文芸活動をする(短歌・俳 2.7	座に参加する 講演会、セミナー、各種講 9 39.1	座を開催する 講演会、セミナー、各種講 12 52.2	る(伝統芸能、茶道など) (伝統文化などの活動をす 0.0	その他 1 4.3	特にない 4 17.4	無回答 1 4.3
の1. 当事者会員	肢体不自由 視覚障害 聴覚障害	総数 23 100.0 5 100.0	句、詩作、小説、評論など) 文芸活動をする(短歌・俳 2 7 0 0.0 0	座に参加する 講演会、セミナー、各種講 939.1 40.0 0	座を開催する 講演会、セミナー、各種講 12 52.2 40.0 0	る(伝統芸能、茶道など) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	その他 1 4.3 0 0.0	特にない 17.4 1 20.0	無 回答 1 4.3 0 0.0
が多い障害	肢体不自由 視覚障害	23 100.0 5 100.0 3 100.0 2	句、詩作、小説、評論など) 文芸活動をする(短歌・俳 2 7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	座に参加する 講演会、セミナー、各種講 939.1 40.0 0.0 1	座を開催する 講演会、セミナー、各種講 12 52.2 40.0 0.0 2	る(伝統芸能、茶道など) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	その他 1 4.3 0 0.0 0.0 1	特にない 17.4 1 20.0 0 0.0	無 回答 1 4.3 0 0.0 1 33.3 0
の1. 当事者会員の障害名_最	肢体不自由 視覚障害 聴覚障害 音声・言語・そしゃく機能障	23 100.0 5 100.0 3 100.0 2 100.0	句、詩作、小説、評論など) 文芸活動をする(短歌・俳 2.7 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	座に参加する 講演会、セミナー、各種講 9 39.1 2 40.0 0.0 1 50.0 0	座を開催する 12 52.2 2 40.0 0 0.0 2 100.0 0	る(伝統芸能、茶道など) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	その他 他 1 4.3 0 0.0 0.0 1 50.0	特にない 17.4 1 20.0 0 0.0 0 0.0	無 回答 1 4.3 0 0.0 1 33.3 0 0.0
「が多い障害 「の1. 当事者会員の障害名」最も当ま	肢体不自由 視覚障害 聴覚障害 音声・言語・そしゃく機能障害	23 100.0 5 100.0 2 100.0 1 100.0	句、詩作、小説、評論など) 文芸活動をする(短歌・俳 2.7 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	座に参加する 講演会、セミナー、各種講 9 39.1 2 40.0 0 0.0 1 50.0 0 0.0 2	座を開催する ま演会、セミナー、各種講 12 52.2 40.0 0.0 2 100.0 0 0.0 2	る(伝統芸能、茶道など) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	その他 他 1 4.3 0 0.0 0.0 1 50.0 0 0.0	特にない 17.4 1 20.0 0 0.0 0 0.0 1 100.0	無 回答 1 4.3 0 0.0 1 33.3 0 0.0 0.0
が多い障害 Q1. 当事者会員の障害名_最も当事者会員数	肢体不自由 視覚障害 聴覚障害 音声・言語・そしゃく機能障害 知的障害	23 100.0 5 100.0 2 100.0 1 100.0 2 100.0 4	つ、詩作、小説、評論など)27の、詩作、小説、評論など)0.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.0	座に参加する 講演会、セミナー、各種講 9 39.1 2 40.0 0.0 1 50.0 0 0.0 2 100.0	座を開催する	る(伝統芸能、茶道など) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	その他 他 1 4.3 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	特にない 17.4 1 20.0 0 0.0 1 100.0 0 0.0	無回答 1 4.3 0 0.0 1 33.3 0 0.0 0 0 0 0 0 0



図表 3-38 文化、芸術活動に関するイベント・取組の状況〔複数回答〕 - 当事者会員の平均年齢別

		_=	3 争 白 云	貝の干り	沙平断力	J			
		総数	コンサートや映画、演劇などに行く	るコンサートや映画、演劇などを開催す	催される美術展、展覧会なども含む)美術館、博物館などに行く(館外で開	する当事者会員の美術展覧会などを開催	動物園や植物園、水族館などに行く	ど) 音楽活動をする(歌や楽器の演奏な	刻、陶芸、書道、華道など) 美術などの創作活動をする(絵画、彫
	団体総数	23 100.0	8 34.8	4 17.4	3 13.0	5 21.7	5 21.7	8 34.8	5 21.7
	40代	6	1 16.7	0.0	0.0	1 16.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7
均年齢 Q4 ⁻ 当事者会員の平	50代	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3
有 会 昌	60代	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3
の 平	70代以上	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0
		総数	句、詩作、小説、評論など)文芸活動をする(短歌・俳	に参加する講演会、セミナー、各種講座	を開催する 講演会、セミナー、各種講座	(伝統芸能、茶道など) 伝統文化などの活動をする	その他	特にない	無回答
	団体総数	23 100.0	2 8.7	9 39.1	12 52.2	0 0.0	1 4.3	4 17.4	1 4.3
	40代	6 100.0	0 0.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0
均年齢 Q4. 当事者会員の平	50代	3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3
会員	60代	3 100.0	0 0.0	2 66.7	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
の 平	70代以上	5 100.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0

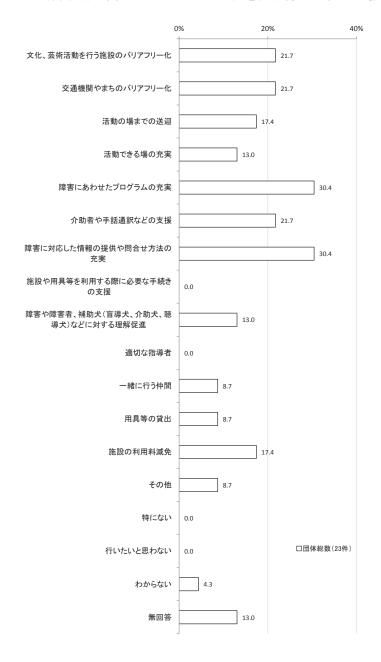


(2) 文化、芸術活動に関するイベント・取組を行う際に必要な支援

文化、芸術活動に関するイベント・取組を行う際に必要な支援は、「障害にあわせたプログラムの充実」、「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」が 30.4% (7 団体) ずつだった。

また、障害者団体ヒアリングでは、障害者等と介助者 2 人分の入場料が必要となるため、 経済的な負担が大きいとの意見がみられた(視覚)。大学の公開講座や地域において、障害 者を対象とした講座があると参加しやすい(知的)、文化、芸術活動に関する発表の場が少 ない(知的)、文化、芸術活動の取組に地域差がみられる(知的)という意見もあった。

図表 3-39 文化、芸術活動に関するイベント・取組を行う際に必要な支援 [3つまで](Q10)





図表 3-40 文化、芸術活動に関するイベント・取組を行う際に必要な支援 [3つまで] (Q10) -最も当事者会員が多い障害別

				#X U =	177日五	ラルン		1 11.1	i	i		
		総数	リー化文化、芸術活動を行う施設のバリアフ	交通機関やまちのバリアフリー化	活動の場までの送迎	活動できる場の充実	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	法の充実障害に対応した情報の提供や問合せ方	手続きの支援施設や用具等を利用する際に必要な	犬、聴導犬)などに対する理解促進障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助	適切な指導者
	団体総数	23 100.0	5 21.7	5 21.7	4 17.4	3 13.0	7 30.4	5 21.7	7 30.4	0 0.0	3 13.0	0.0
が 2	肢体不自由	5 100.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0.0	2 40.0	0.0
が多い障害 Q1. 当事者会員の障害名_最も当事者会員数	視覚障害	3	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0
害者会	聴覚障害	100.0	33.3 0	33.3 0	33.3 0	0.0	33.3 0	33.3 2	33.3 1	0.0	0.0	0.0 0
員 の	音声・言語・そしゃく機	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0 0	50.0 0	0.0	0.0	0.0
障 害	能障害	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名	知的障害	100.0	1 50.0	0 0.0	0.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0.0	0.0
も	精神障害	4	0	0.0	1	0	1	0.0	2	0.0	0.0	0
事	 内部障害、難病等	100.0	0.0	0.0	25.0 1	0.0 1	25.0 1	0.0	50.0 0	0.0	0.0 1	0.0
者会	[[2] 即降古、無水 寸	100.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
員 数	その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	100.0	100.0	0.0	0 0.0	0 0.0	0.0
		総数	一緒に行う仲間	用具等の貸出	施設の利用料減免	その他	特にない	行いたいと思わない	わからない	無回答		
	団体総数	23 100.0	2 8.7	2 8.7	4 17.4	2 8.7	0 0.0	0 0.0	1 4.3	3 13.0		
が2	肢体不自由	5	0	0	1	0	0	0	0	0	•	
が多い障害 Q1. 当事者会員の障害名_最も当事者会員数	視覚障害	100.0 3 100.0	0.0 0 0.0	0.0 0 0.0	20.0 0 0.0	0.0 0 0.0	0.0 0 0.0	0.0 0 0.0	0.0 0 0.0	0.0 1 33.3		
吾 者 会	聴覚障害	2	0	1	1	1	0.0	0	0.0	0		
員 の	音声・言語・そしゃく機	100.0	0.0	50.0 0	50.0 1	50.0 0	0.0	0.0	0.0	0.0		
障害	能障害	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
名	知的障害	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		
取 も	精神障害	4	0	1	1	1	0.0	0.0	0.0	1		
事	力如除宝 株庄笠	100.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0		
者 会	内部障害、難病等	100.0	1 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 33.3	н	h daybadanta
員数	その他	1 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0 0.0	0.0	0.0	Н Н	



図表 3-41 文化、芸術活動に関するイベント・取組を行う際に必要な支援〔3つまで〕(Q10) - 当事者会員の平均年齢別

おいけん					_	777	貝の「	~つ 一 图 D .	1.1				
100.0 21.7 21.7 17.4 13.0 30.4 21.7 30.4 0.0 13.0 0.0 21.7 21.7 17.4 13.0 30.4 21.7 30.4 0.0 13.0 0.0 3			総数	リー化文化、芸術活動を行う施設のバリアフ		活動の場までの送迎	活動できる場の充実	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	法の充実 障害に対応した情報の提供や問合せ方	手続きの支援を利用する際に必要な	犬、聴導犬)などに対する理解促進障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助	適切な指導者
対象 40代		団体総数											
100.0 50.0 16.7 16.7 16.7 33.3 0.0 66.7 0.0 16.7 0.0		T											
Total part	均 Q4.	40代									l		
Total part	齢当	50代											
100.0 40.0 60.0 40.0 0.0 20.0 0.0 0.0 20.0 0.0 総数	事										0.0		
100.0 40.0 60.0 40.0 0.0 20.0 0.0 0.0 20.0 0.0 総数	白会	60代		0	0	0					0	0	0
100.0 40.0 60.0 40.0 0.0 20.0 0.0 0.0 20.0 0.0 総数	員			0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	
100.0 40.0 60.0 40.0 0.0 20.0 0.0 0.0 20.0 0.0 総数	の 亚	70代以上											
団体総数 23 2 2 4 2 0 0 1 3 100.0 8.7 8.7 17.4 8.7 0.0 0.0 4.3 13.0 13.0 13.0 14.1 15.0 1	'		100.0	40.0	60.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
100.0 8.7 8.7 17.4 8.7 0.0 0.0 4.3 13.0 均 Q 4 40代			総数		用具等の貸出	施設の利用料減免	その他	特にない	行いたいと思わない	わからない	無回答		
均 Q 4 40代 6 0 1 0 0 0 0 0 1 0 0 1 0 0 0 1 0 0 0 1 0		団体総数											
年 100.0 0.0 16.7 0.0 0.0 0.0 16.7 0.0 齢 当 7		T											
事者 100.0 0.0 0.0 0.0 33.3 0.0 0.0 0.0 33.3 会員 60代 3 1 1 1 0 0 0 0 0 0 0 100.0 33.3 33.3 33.3 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0 70代以上 5 0 0 2 0 0 0 0 0	均 Q4:	40代											
事者会会 100.0 0.0 0.0 0.0 33.3 0.0 0.0 0.0 33.3 会員 100.0 33.3 1 1 1 0 0 0 0 0 0 0 70代以上 5 0 0 2 0 0 0 0 0 0 100.0 0.0 0.0 40.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	齢当	50代											
日本 負 60代 3 1 1 1 0 0 0 0 0 0 の 平 70代以上 5 0 0 2 0 0 0 0 0 0 100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	事			0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0			
員 100.0 33.3 33.3 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 の 70代以上 5 0 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 100.	会	60代											
ジャ 70代以上 5 0 0 2 0 0 0 0 0 0 100.0 0.0 0.0 40.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	員												
	平	70代以上 											



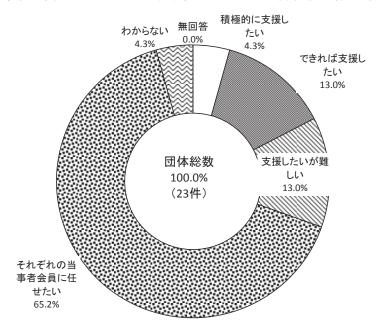
5 ボランティア活動について

(1) 当事者会員のボランティア活動参加についての障害者団体の考え

当事者会員のボランティア活動参加については、「それぞれの当事者会員に任せたい」とする障害者団体が多く、65.2%(15団体)だった。

「積極的に支援したい」団体は 1 団体のみで、「できれば支援したい」、「支援したいが難しい」という団体が 3 団体ずつみられた。

図表 3-42 当事者会員のボランティア活動参加についての障害者団体の考え[単数回答](Q11)





図表 3-43 当事者会員のボランティア活動参加についての障害者団体の考え〔単数回答〕(Q11) -最も当事者会員が多い障害別

		総数	積極的に支援したい	できれば支援したい	支援したいが難しい	員に任せたい	わからない	無回答
	団体総数	23	1	3	3	15	1	0
		100.0	4.3	13.0	13.0	65.2	4.3	0.0
がの	肢体不自由	5	0	1	1	3	0	0
が多い障害 Q1. 当事者		100.0	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0
に当	視覚障害	3	0	0	1	1	1	0
害多		100.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
- 会	聴覚障害	2	1	0	0	1	0	0
員		100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
の暗	音声・言語・そしゃく機能障害	1	0	0	0	1	0	0
宝		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
名	知的障害	2	0	1	0	1	0	0
い障害(当事者会員の障害名」最も当事者会員数		100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	精神障害	4	0	1	0	3	0	0
		100.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
	内部障害、難病等	3	0	0	0	3	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	その他	1	0	0	0	1	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

図表 3-44 当事者会員のボランティア活動参加についての障害者団体の考え〔単数回答〕(Q11) - 当事者会員の平均年齢別

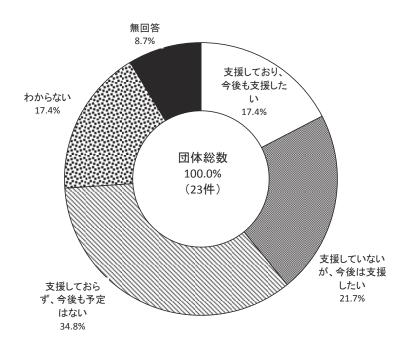
		総数	い 積極的に支援した	できれば支援したい	支援したいが難しい	会員に任せたい	わからない	無回答
団体総数		23	1	3	3	15	1	0
		100.0	4.3	13.0	13.0	65.2	4.3	0.0
94. 当事者会員の平 の4. 当事者会員の平	40代	6	0	2	2	2	0	0
		100.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	50代	3	1	0	0	2	0	0
		100.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	60代	3	0	0	1	2	0	0
		100.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	70代以上	5	0	1	0	3	1	0
		100.0	0.0	20.0	0.0	60.0	20.0	0.0



(2) 当事者会員のボランティア活動参加への支援状況

当事者会員のボランティア活動参加への支援状況は、「支援しておらず、今後も予定はない」が34.8%(8団体)だった。「支援しており、今後も支援したい」が17.4%(4団体)、「支援していないが、今後は支援したい」が21.7%(5団体)だった。

図表 3-45 当事者会員のボランティア活動参加への支援状況〔単数回答〕(Q12)





図表 3-46 当事者会員のボランティア活動参加への支援状況〔単数回答〕(Q12) -最も当事者会員が多い障害別

		総数	も支援したい、今後	今後は支援したい支援していないが、	後も予定はない支援しておらず、今	わからない	無回答
	団体総数	23	4	5	8	4	2
		100.0	17.4	21.7	34.8	17.4	8.7
がの	肢体不自由	5	1	1	1	2	0
が多い障害 図1. 当事者		100.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0
い当	視覚障害	3	0	1	0	0	2
岸 害 妻		100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
1 台	聴覚障害	2	1	1	0	0	0
員		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
の	音声・言語・そしゃく機能障害	1	0	0	1	0	0
字		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
名	知的障害	2	1	1	0	0	0
- 最		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
ŧ	精神障害	4	0	1	3	0	0
当		100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0
尹	内部障害、難病等	3	1	0	1	1	0
い障害		100.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
員	その他	1	0	0	1	0	0
釵		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

図表 3-47 当事者会員のボランティア活動参加への支援状況〔単数回答〕(Q12) - 当事者会員の平均年齢別

		総数	支援したい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後は支援したいないが、今	も予定はないも予定はない。	わからない	無回答
	団体総数	23	4	5	8	4	2
		100.0	17.4	21.7	34.8	17.4	8.7
±1 ₽	40代	6	0	2	1	3	0
均年齡		100.0	0.0	33.3	16.7	50.0	0.0
齢当	50代	3	1	1	0	0	1
事		100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
4 会	60代	3	0	2	1	0	0
員		100.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
齢事者会員の平	70代以上	5	2	0	2	0	1
+		100.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0

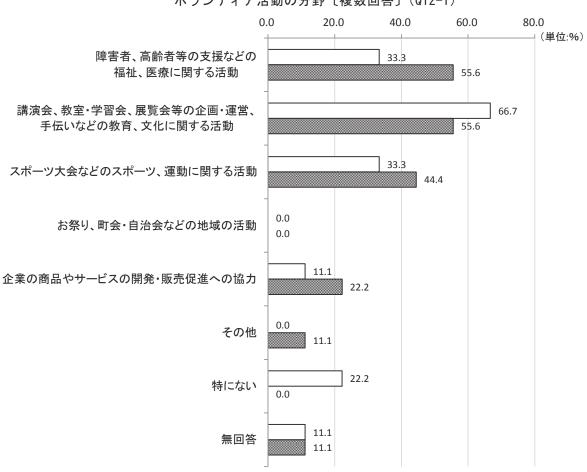


(3) ボランティア活動への参加支援の分野

(※当事者会員のボランティア活動参加への支援状況で「支援しており、今後も支援したい」、「支援していないが、今後は支援したい」と回答した9団体が対象)

当事者会員のボランティア活動を「支援しており、今後も支援したい」、「支援していないが、今後は支援したい」と回答した9団体に、どのような分野のボランティア活動を支援したことがあるか尋ねたところ、「講演会、教室・学習会、展覧会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動」が66.7%(6団体)だった。

今後支援したい分野は「障害者、高齢者等の支援などの福祉、医療に関する活動」、「講演会、教室・学習会、展覧会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動」がいずれも55.6% (5団体) だった。



図表 3-48 今までに支援したことがある/今後支援したい ボランティア活動の分野 [複数回答] (Q12-1)

□今までに支援したことがある(団体総数9件) 図今後支援したい(団体総数9件)



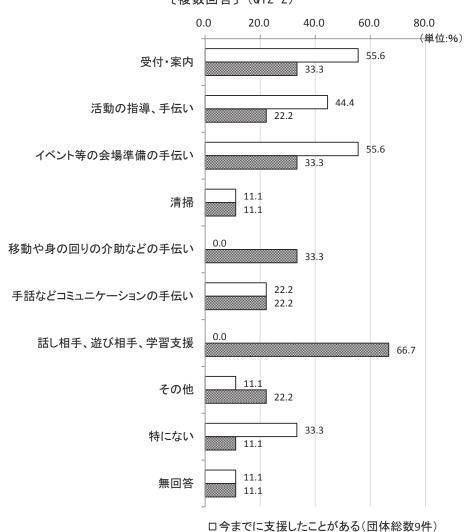
(4) ボランティア活動への参加支援の内容

(※当事者会員のボランティア活動参加への支援状況で「支援しており、今後も支援した い」、「支援していないが、今後は支援したい」と回答した9団体が対象)

今までに支援したことがあるボランティア活動の内容は、「受付・案内」、「イベント等 の会場準備の手伝い」が55.6%(5団体)ずつだった。

今後支援したいボランティア活動の内容は、「話し相手、遊び相手、学習支援」が66.7% (6団体) だった。

図表 3-49 今までに支援したことがある/今後支援したいボランティア活動の内容 〔複数回答〕(Q12-2)





■今後支援したい(団体総数9件)

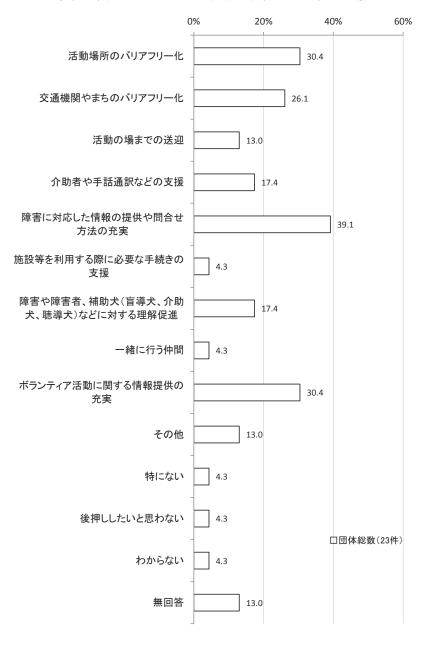


(5) 当事者会員のボランティア活動の後押しに必要な支援

全ての障害者団体に、当事者会員のボランティア活動の後押しに必要な支援を尋ねたところ、「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」が39.1%(9団体)、「ボランティア活動に関する情報提供の充実」が30.4%(7団体)だった。

また、障害者団体ヒアリングでは、パソコンのスキルを身につけてボランティア活動を したいと思っても、勉強できる環境が整っていないので、現状は活動できていないとの意 見がみられた(聴覚)。やりたいものがあってもサポートが必要という課題があるという意 見もあった(視覚)。

図表 3-50 当事者会員のボランティア活動の後押しに必要な支援〔3 つまで〕(Q13)





図表 3-51 当事者会員のボランティア活動の後押しに必要な支援〔3 つまで〕(Q13) -最も当事者会員が多い障害別

			取りコー	尹日云貝 -	וייט פציען.	우 급 끼	i i	ì	
		総数	活動場所のバリアフリー化	化変通機関やまちのバリアフリー	活動の場までの送迎	介助者や手話通訳などの支援	合せ方法の充実障害に対応した情報の提供や問	続きの支援施設等を利用する際に必要な手	理解促進介助犬、聴導犬)などに対する介助犬、聴導犬、などに対する障害や障害者、補助犬(盲導犬、
	団体総数	23 100.0	7 30.4	6 26.1	3 13.0	4 17.4	9 39.1	1 4.3	4 17.4
当 Q1. 事 ¹ .	肢体不自由	5	4 80.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0
者当会事	視覚障害	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0.0
当事者会員数が多い障害 Q1. 当事者会員の障害名_最も	聴覚障害	2	0	0	0	1	1	0	0
が員の		100.0 1	0.0	0.0	0.0	50.0 0	50.0 0	0.0	0.0
い 障 障 害		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
害名	知的障害	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0.0	0 0.0
ŧ	精神障害	4	0	0	0	0	1	1	1
	 内部障害、難病等	100.0 3	0.0	0.0	0.0 1	0.0	25.0 1	25.0 0	25.0 0
	LIHPPT DIXXIII	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		総数	一緒に行う仲間	する情報提供の充実がランティア活動に関	その他	特にない	い 後押ししたいと思わな	わからない	無回答
	団体総数	23 100.0	1 4.3	7 30.4	3 13.0	1 4.3	1 4.3	1 4.3	3 13.0
当 Q1.	肢体不自由	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.0
事者会員数が多い障害な 当事者会員の障害名	視覚障害	3 100.0	0.0	1 33.3	0.0	0.0 0 0.0	0.0	0.0 0 0.0	1 33.3
貝 名 会	聴覚障害	2	0	1	1	0	0	0	1
が見の暗	 音声・言語・そしゃく機能障害	100.0	0.0	50.0 1	50.0 0	0.0	0.0	0.0	50.0 0
障害		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最	知的障害	100.0	1 50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ŧ	精神障害	4	0	0	1	0	1	0	1
	 内部障害、難病等	100.0	0.0	0.0 1	25.0 1	0.0 1	25.0 0	0.0	25.0 0
	3 - 11	100.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	その他 	1 100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0 0.0	0.0	0.0



図表 3-52 当事者会員のボランティア活動の後押しに必要な支援〔3 つまで〕(Q13) - 当事者会員の平均年齢別

				D A Q V	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ויוע יו ש	1		
		総数	活動場所のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	活動の場までの送迎	介助者や手話通訳などの支援	法の充実障害に対応した情報の提供や問合せ方	の支援の支援に必要な手続きを利用する際に必要な手続き	犬、聴導犬)などに対する理解促進障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助
	団体総数	23 100.0	7 30.4	6 26.1	3 13.0	4 17.4	9 39.1	1 4.3	4 17.4
	40代	6	4	2	0	1	4	1	2
均年 齢 当		100.0	66.7	33.3	0.0	16.7	66.7	16.7	33.3
均年齢 Q4 ⁻ 当事者会員の平	50代	3	1	1	0	1	1	0	1
争 者		100.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
숲	60代	3	0	0	1	0	1	0	0
貝 の	70代以上	100.0 5	0.0 2	0.0 3	33.3 1	0.0 1	33.3 2	0.0	0.0
華	70代以上	100.0	40.0	60.0	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0
		総数	一緒に行う仲間	する情報提供の充実がランティア活動に関	その他	特にない	ない 後押ししたいと思わ	わからない	無回答
	団体総数	23 100.0	1 4.3	7 30.4	3 13.0	1 4.3	1 4.3	1 4.3	3 13.0
±a 0	40代	6	0	1	0	0	0	1	0
均年 齢 ***		100.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
齢当	50代	3	0	1	1	0	0	0	1
者		100.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
均年齢 Q4 ⁻ 当事者会員の平	60代	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0.0	1 33.3
貝 の	70代以上	100.0	0.0	2	0.0	33.3	0.0	0.0	0
平	,010%	100.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

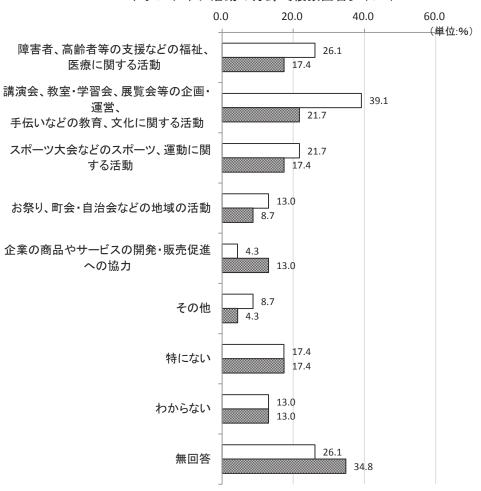


(6) 当事者会員が参加した、あるいは今後当事者会員に勧めたいボランティア活動の分野

これまでに当事者会員が参加したボランティア活動で障害者団体が把握しているものは、「講演会、教室・学習会、展覧会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動」が 39.1% (9 団体) だった。

今後当事者会員に勧めたいボランティア活動の分野も「講演会、教室・学習会、展覧会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動」が 21.7% (5 団体) だった。

図表 3-53 これまでに当事者会員が参加した/今後当事者会員に勧めたい ボランティア活動の分野〔複数回答〕(Q14)



- 口これまでに当事者会員が参加した分野(団体総数23件)
- ■今後当事者会員に勧めたい分野(団体総数23件)



図表 3-54 これまでに当事者会員が参加したボランティア活動の分野〔複数回答〕(Q14) -最も当事者会員が多い障害別

# 0 1 7 1 A M 7 V IF I M											
		総数	福祉、医療に関する活動障害者、高齢者等の支援などの	育、文化に関する活動の企画・運営、手伝いなどの教講演会、教室・学習会、展覧会等	動に関する活動スポーツ、運	の活動の活動・自治会などの地域	売促進への協力企業の商品やサービスの開発・販	その他	特にない	わからない	無回答
	団体総数	23	6	9	5	3	1	2	4	3	6
		100.0	26.1	39.1	21.7	13.0	4.3	8.7	17.4	13.0	26.1
n Q	肢体不自由	5	0	2	2	1	0	0	1	1	1
多二.		100.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0
に 当	視覚障害	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2
の1. 当事者会員の障害名_最も当事者会員数		100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	聴覚障害	2	1	1	1	0	0	1	0	0	1
員		100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
会員の暗	音声・言語・そしゃく機能	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
宇	障害	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
I 名	知的障害	2	1	1	1	1	1	0	0	0	1
最		100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
ŧ	精神障害	4	0	1	0	0	0	0	2	0	1
当		100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0
者	内部障害、難病等	3	2	2	1	1	0	0	1	0	0
会		100.0	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
貞	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
蚁		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

図表 3-55 これまでに当事者会員が参加したボランティア活動の分野〔複数回答〕(Q14)

- 当事者会員の平均年齢別

		総数	どの福祉、医療に関する活動障害者、高齢者等の支援な	どの教育、文化に関する活動会等の企画・運営、手伝いな講演会、教室・学習会、展覧	ツ、運動に関する活動スポーツ大会などのスポー	地域の活動お祭り、町会・自治会などの	発・販売促進への協力企業の商品やサービスの開	その他	特にない	わからない	無回答
	団体総数	23	6	9	5	3	1	2	4	3	6
		100.0	26.1	39.1	21.7	13.0	4.3	8.7	17.4	13.0	26.1
+⁄1 Q	40代	6	1	3	1	1	0	1	0	2	1
年 4		100.0	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7
均 年 齡 事者 会員 の 可 70代以上	50代	3	1	1	1	0	0	1	1	0	1
		100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
会	60代	3	2	1	1	1	0	0	0	0	1
員		100.0	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
の	70代以上	5	1	3	1	0	0	0	0	0	2
+		100.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0



図表 3-56 今後当事者会員に勧めたいボランティア活動の分野〔複数回答〕(Q14) -最も当事者会員が多い障害別

		総数	の福祉、医療に関する活動障害者、高齢者等の支援など	教育、文化に関する活動等の企画・運営、手伝いなどの講演会、教室・学習会、展覧会	運動に関する活動スポーツ大会などのスポーツ、	域の活動域の活動というである。	販売促進への協力企業の商品やサービスの開発・	その他	特にない	わからない	無回答
	団体総数	23	4	5	4	2	3	1	4	3	8
		100.0	17.4	21.7	17.4	8.7	13.0	4.3	17.4	13.0	34.8
がの	肢体不自由	5	1	2	2	1	0	0	1	1	1
多一		100.0	20.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0
脱当	視覚障害	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2
が多い障害 Q1. 当事者会員の障害名_最も当事者会員数		100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	聴覚障害	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
() R音	音声・言語・そしゃく機能	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
害	障害	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名	知的障害	2	1	2	2	1	2	0	0	0	0
最		100.0	50.0	100.0	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
も	精神障害	4	1	0	0	0	0	0	2	0	1
事		100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0
者	内部障害、難病等	3	0	0	0	0	0	0	1	0	2
会		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
貝 数	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
~		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

図表 3-57 今後当事者会員に勧めたいボランティア活動の分野〔複数回答〕(Q14)

ー当事者会員の平均年齢別

				- 7	п <i>д</i> д д ч		10 1, V.1,				
		総数	どの福祉、医療に関する活動障害者、高齢者等の支援な	どの教育、文化に関する活動会等の企画・運営、手伝いな講演会、教室・学習会、展覧	ツ、運動に関する活動スポーツ大会などのスポー	地域の活動お祭り、町会・自治会などの	発・販売促進への協力企業の商品やサービスの開	その他	特にない	わからない	無回答
	団体総数	23	4	5	4	2	3	1	4	3	8
		100.0	17.4	21.7	17.4	8.7	13.0	4.3	17.4	13.0	34.8
±1 ₽	40代	6	2	2	2	1	1	0	0	2	1
均 年 齢 当		100.0	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7
年齢の平の	50代	3	0	0	0	0	1	1	1	0	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3
	60代	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2
員		100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
の 亚	70代以上	5	0	2	1	0	0	0	0	0	3
'		100.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0

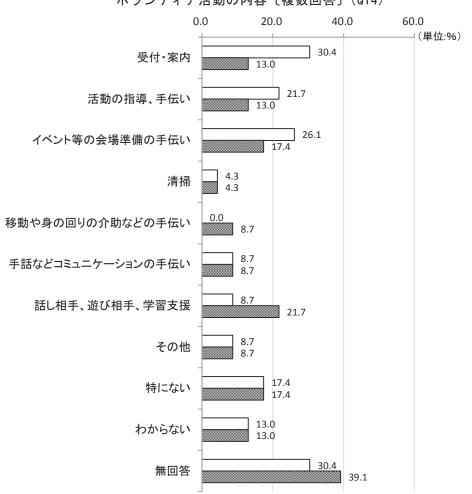


(7) 当事者会員が参加した、あるいは今後当事者会員に勧めたいボランティア活動の内容

これまでに当事者会員が参加したボランティア活用の内容で障害者団体として把握しているものは、「受付・案内」が 30.4% (7 団体) だった。

今後当事者会員に勧めたい活動内容は「話し相手、遊び相手、学習支援」が 21.7% (5 団体) だった。

図表 3-58 これまでに当事者会員が参加した/今後当事者会員に勧めたい ボランティア活動の内容 [複数回答] (Q14)



□これまでに当事者会員が参加した活動内容(団体総数23件) 図今後当事者会員に勧めたい活動内容(団体総数23件)



図表 3-59 これまでに当事者会員が参加したボランティア活動の内容〔複数回答〕(Q14) -最も当事者会員が多い障害別

		総数 	受付·案内	活動の指導、手伝い	の手伝いの手伝い	清掃	助などの手伝い移動や身の回りの介	ションの手伝い 手話などコミュニケー	学習支援 話し相手、遊び相手、	その他	特にない	わからない	無回答
	団体総数	23 100.0	7 30.4	5 21.7	6 26.1	1 4.3	0 0.0	2 8.7	2 8.7	2 8.7	4 17.4	3 13.0	7 30.4
が Q.	肢体不自由	5	2 40.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0
が多い障害 Q1. 当事者	視覚障害	3 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	2 66.7
百会員	聴覚障害	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0.0	0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0.0	0 0.0	1 50.0
の 障 害	音声・言語・そしゃく機 能障害	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0.0	0.0	0.0	0 0.0	0 0.0	0.0	0 0.0	0.0
· 名 - 最	知的障害	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 50.0
も 当 事	精神障害	4 100.0	0.0	0.0	0 0.0	0.0	0.0	0.0	1 25.0	0.0	1 25.0	0.0	2 50.0
い障害 当事者会員の障害名_最も当事者会員数	内部障害、難病等	3 100.0	2 66.7	1 33.3	2 66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 33.3	0.0	0.0
数	その他	1 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 100.0	0.0

図表 3-60 これまでに当事者会員が参加したボランティア活動の内容〔複数回答〕(Q14)

ー当事者会員の平均年齢別

				_	- ヨ 争 1	5云貝(の平均:	干断加					
		総数	受付・案内	活動の指導、手伝い	の手伝いの手伝い	清掃	助などの手伝い移動や身の回りの介	ションの手伝い手話などコミュニケー	学習支援話し相手、遊び相手、	その他	特にない	わからない	無回答
	団体総数	23	7	5	6	1	0	2	2	2	4	3	7
		100.0	30.4	21.7	26.1	4.3	0.0	8.7	8.7	8.7	17.4	13.0	30.4
to O	40代	6	1	1	1	0	0	0	1	0	1	2	2
均 Q4. 年		100.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	33.3
齢当り	50代	3	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1
		100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
	60代	3	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1
員		100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
の	70代以上	5	3	2	3	0	0	1	0	1	0	0	2
+		100.0	60.0	40.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0



図表 3-61 今後当事者会員に勧めたいボランティア活動の内容〔複数回答〕(Q14) ー最も当事者会員が多い障害別

		総数	受付·案内	活動の指導、手伝い	の手伝い	清掃	助などの手伝い移動や身の回りの介	ションの手伝い手話などコミュニケー	学習支援話し相手、遊び相手、	その他	特にない	わからない	無回答
	団体総数	23	3	3	4	1	2	2	5	2	4	3	9
		100.0	13.0	13.0	17.4	4.3	8.7	8.7	21.7	8.7	17.4	13.0	39.1
がの	肢体不自由	5	2	1	2	0	0	1	2	1	1	1	1
多一		100.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0
が多い障害 図1. 当事者	視覚障害	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
呼 争 害 多		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
会	聴覚障害	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
員		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
の	音声・言語・そしゃく機	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
害	能障害	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名	知的障害	2	1	1	1	1	2	1	2	0	0	0	0
最		100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
も	精神障害	4	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
事		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0
い障害 当事者会員の障害名_最も当事者会員数	内部障害、難病等	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
会		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
数	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

図表 3-62 今後当事者会員に勧めたいボランティア活動の内容 [複数回答] (Q14)

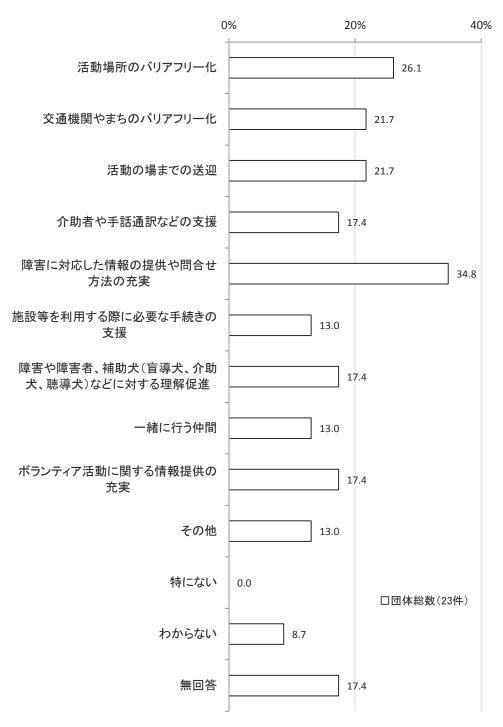
				-	- 当事	生会員(の平均:	年齢別					
		総数	受付·案内	活動の指導、手伝い	手伝い手伝の会場準備の	清掃	などの手伝い移動や身の回りの介助	ョンの手伝い手話などコミュニケーシ	学習支援話し相手、遊び相手、	その他	特にない	わからない	無回答
-	団体総数	23	3	3	4	1	2	2	5	2	4	3	9
		100.0	13.0	13.0	17.4	4.3	8.7	8.7	21.7	8.7	17.4	13.0	39.1
to Q	40代	6	1	1	1	0	1	1	2	0	1	2	1
均 Q4. 年		100.0	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7
当事者	50代	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
	60代	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
<u>の</u>	70代以上	5	1	1	2	0	0	1	1	1	0	0	3
+		100.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	60.0



(8) 当事者会員がボランティア活動をする上で必要な支援

当事者会員がボランティア活動をする上で必要な支援は、「障害に対応した情報の提供 や問合せ方法の充実」が34.8% (8 団体)だった。

図表 3-63 当事者会員がボランティア活動をする上で必要な支援 [3 つまで] (Q15)





図表 3-64 当事者会員がボランティア活動をする上で必要な支援 [3 つまで] (Q15) - 当事者会員が最も多い障害別

		総数	活動場所のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	活動の場までの送迎	介助者や手話通訳などの支援	法の充実障害に対応した情報の提供や問合せ方	の支援施設等を利用する際に必要な手続き	犬、聴導犬)などに対する理解促進障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助	一緒に行う仲間	充実がランティア活動に関する情報提供の	その他	特にない	わからない	無回答
	団体総数	23	6	5	5	4	8	3	4	3	4	3	0	2	4
		100.0	26.1	21.7	21.7	17.4	34.8	13.0	17.4	13.0	17.4	13.0	0.0	8.7	17.4
がの	肢体不自由	5	3	2	0	1	2	0	2	1	1	0	0	0	1
多一.		100.0	60.0	40.0	0.0	20.0	40.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
に当	視覚障害	3	1	1	1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	1
が多い障害 21. 当事者		100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
1 日 会	聴覚障害	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1
員		100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
の	音声・言語・そしゃ	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0
室	く機能障害	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名	知的障害	2	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0
最		100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ŧ	精神障害	4	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1
当		100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
い障害 当事者会員の障害名_最も当事者会員数	内部障害、難病等	3	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0
		100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
員	その他	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
釵		100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

図表 3-65 当事者会員がボランティア活動をする上で必要な支援〔3 つまで〕(Q15)

一当事者会員の平均年齢別

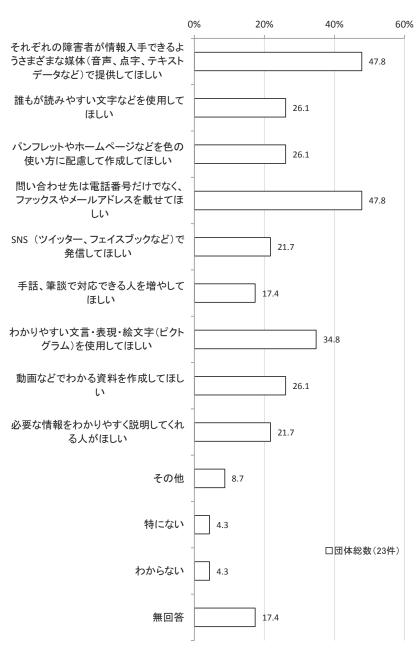
		総数	化活動場所のバリアフリー	リー化交通機関やまちのバリアフ	活動の場までの送迎	支援介助者や手話通訳などの	供や問合せ方法の充実障害に対応した情報の提	要な手続きの支援施設等を利用する際に必	どに対する理解促進導犬、介助犬、聴導犬)な障害や障害者、補助犬(盲	一緒に行う仲間	情報提供の充実がランティア活動に関する	その他	特にない	わからない	無回答
	団体 総数	23	6	5	5	4	8	3	4	3	4	3	0	2	4
	110 22	100.0	26.1	21.7	21.7	17.4	34.8	13.0	17.4	13.0	17.4	13.0	0.0	8.7	17.4
	40代	6	3	2	2	1	2	1	1	1	1	0	0	1	0
均年齡 24. 当		100.0	50.0	33.3	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
- 齢	50代	3	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1
		100.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
	60代	3	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1
		100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
	70代	5	2	2	1	1	2	2	2	0	1	0	0	0	1
'	以上	100.0	40.0	40.0	20.0	20.0	40.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0



6 情報アクセシビリティについて

当事者会員が、情報を入手したりコミュニケーションをとる上で、どのような配慮があるとよいかを尋ねたところ、「それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい」、「問い合わせ先は電話番号だけでなく、ファックスやメールアドレスを載せてほしい」が 47.8% (11 団体) だった。

図表 3-66 当事者会員の情報入手やコミュニケーションにあるとよい配慮〔複数回答〕(Q16)





図表 3-67 当事者会員の情報入手やコミュニケーションにあるとよい配慮〔複数回答〕(Q16) - 当事者会員が最も多い障害別

		総数	体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしいくれぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒	誰もが読みやすい文字などを使用してほしい	作成してほしい作成してほしい	アドレスを載せてほしい問い合わせ先は電話番号だけでなく、ファックスやメール	SNS(ツイッター、フェイスブックなど)で発信してほしい	手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい	てほしい てほしい かりやすい文言・表現・絵文字(ピクトグラム)を使用し	動画などでわかる資料を作成してほしい	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい	その他	特にない	わからない	無回答
	団体総数	23	11	6	6	11	5	4	8	6	5	2	1	1	4
	***	100.0	47.8	26.1	26.1	47.8	21.7	17.4	34.8	26.1	21.7	8.7	4.3	4.3	17.4
多い障害 Q1.当事	肢体不自由	5 100.0	2 40.0	0.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	0.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	0.0	0.0	0.0	1 20.0
障当	視覚障害	3	2	0.0	0	1	0	0.0	1	0	0	0.0	0.0	0.0	1
害事),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	100.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
有 全	聴覚障害	2	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1
員		100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
の暗	音声・言語・そ	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
害名	しゃく機能障 害	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最	知的障害	2	2	1	2	1	1	1	2	2	1	0	0	0	0
も 出		100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
多い障害 Q1. 当事者会員の障害名_最も当事者会員数が	精神障害	4 100.0	0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0.0	1 25.0	0 0.0	0.0	0.0	1 25.0	0.0	1 25.0
	内部障害、難	3	3	1	1	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0
貝数	病等	100.0	100.0	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
ĥ	その他	100.0	100.0	100.0	100.0	1 100.0	1 100.0	100.0	100.0	1 100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0 0.0



図表 3-68 当事者会員の情報入手やコミュニケーションにあるとよい配慮〔複数回答〕(Q16) - 当事者会員の平均年齢別

		総数	体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしいくれぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒	誰もが読みやすい文字などを使用してほしい	作成してほしいパンフレットやホームページなどを色の使い方に配慮して	アドレスを載せてほしい問い合わせ先は電話番号だけでなく、ファックスやメール	SNS(ツイッター、フェイスブックなど) で発信してほしい	手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい	てほしいわかりやすい文言・表現・絵文字(ピクトグラム)を使用し	動画などでわかる資料を作成してほしい	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい	その他	特にない	わからない	無回答
	団体総数	23	11	6	6	11	5	4	8	6	5	2	1	1	4
		100.0	47.8	26.1	26.1	47.8	21.7	17.4	34.8	26.1	21.7	8.7	4.3	4.3	17.4
均 Q.4.	40代	6	2	1	2	2	0	1	3	1	1	1	0	1	0
均年齢 Q4. 当事者会員の平		100.0	33.3	16.7	33.3	33.3	0.0	16.7	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0
	50代	3	1	1	0	1	1	1	1	2	1	0	0	0	1
	00/15	100.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
	60代	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0.0	0.0	0 0.0	0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.0	0.0	0.0	1 33.3
	70代以上	5	3	1	0	4	0	0	1	0	0	1	0	0	1
		100.0	60.0	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0

